

農業用廃ビニール類の処分にご注意を！

農産物の栽培・生産にはビニール製品が多く利用されていると思います。

事業で出るビニールごみ等は、産業廃棄物に分類されることから**家庭ごみとして出すことを禁止されています。**

農業用廃ビニール類を、家庭ごみと一緒にごみ集積所に出したり、**クリーンセンターに持ち込むことはやめましょう。**

習志野市では、JA千葉みらいが実施している農業用廃ビニール類の回収事業とタイアップして、処分費の補助事業を実施しています。

なお、回収は例年4月下旬・12月中旬に実施していますが、詳細については、下記の連絡先までお問い合わせください。

＜問い合わせ先＞

回収日や回収方法 → JA千葉みらい習志野営農センター (☎047-454-0190)

補助事業について → 習志野市役所産業振興課 (☎047-453-9217)

農業者年金のお知らせです

【加入できる方】

下記の①～③の全てを満たす方であれば、どなたでも加入できます。

- ① 国民年金第1号被保険者の方
※保険料納付免除者を除きます。
- ② 年間60日以上農業に従事している方
- ③ 20歳以上65歳未満の方
※60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者に限ります。

【問合せ先】

JA千葉みらい習志野支店(☎454-0191)
農業委員会事務局(☎453-7708)

～農業者の方なら加入いただけます～

- ◇ 少子・高齢化時代でも安心の積立方式の年金
- ◇ 年金は生涯支給されます。
- ◇ 支払った保険料は全額が社会保険料控除
- ◇ 手厚い政策支援!保険料に国庫補助も

一人ひとりの農業者を応援する
農業者年金



全国農業
新聞

毎週金曜日発行 1ヶ月 700円(消費税込)
申し込みは、農業委員会事務局まで

習志野市 農業委員会だより

発行 習志野市農業委員会
所在地 習志野市鷺沼二丁目1番1号
電話 047-453-7708

《第15号》

第56回農業祭が開催されました！

令和5年11月11日(土)と12日(日)に、第56回習志野市農業祭が開催され、あいにくの天候でしたが、2日間で延べ約12,000人の多くの方にご来場いただきました。

農業委員会では、獲れたて野菜を袋詰めした福袋の抽選や、焼き芋の販売等を行い、多くの市民の皆様笑顔に届けました。



地元の野菜の直売コーナーや、焼きそば・フランクフルト、ゲームコーナーなど、大変な賑わいを見せていました。

今年は、市政施行70周年です。農業委員会としても、農業祭を大いに盛り上げてまいります。

あしたのハーモニーが響くまち 習志野市



☆☆☆目次☆☆☆

1. 第56回習志野市農業祭
2. 農業委員の紹介
3. 農地利用の集積・集約化
4. 農業委員会の活動
5. 農業用廃ビニール類の捨て方
6. 農業者年金のお知らせ

新しい農業委員が決まりました！

農業委員会等に関する法律に基づき、新たに16人の農業委員が習志野市長より任命されました。新しい農業委員の任期は、令和5年10月7日から令和8年10月6日までの3年間で、農業者の代表として活動してまいります。

なお、会長職には三代川彦博氏、会長職務代理者には櫻井茂雄氏が選出されました。(敬称略)



会長 三代川 彦博
【谷津一丁目】



職務代理者 櫻井 茂雄
【実籾本郷】



市角 明彦
【大久保四丁目】



江口 明美
【藤崎一丁目】



江口 勝洋
【藤崎三丁目】



金子 光雄
【谷津二丁目】



関口 昌弘
【実籾三丁目】



都築 博文
【津田沼三丁目】



中 藁 明
【屋敷一丁目】



中野 政博
【屋敷三丁目】



廣瀬 克久
【鷺沼三丁目】



三代川 浩一
【谷津二丁目】



村山 茂男
【鷺沼三丁目】



矢野 泰宏
【谷津二丁目】



渡邊 喜代美
【鷺沼一丁目】



渡邊 幸枝
【実籾三丁目】

農地利用の集積・集約化について

現在、本市では、農業就業人口の減少など社会環境の変化に伴い、農地が適性に利用されなくなることが懸念されています。

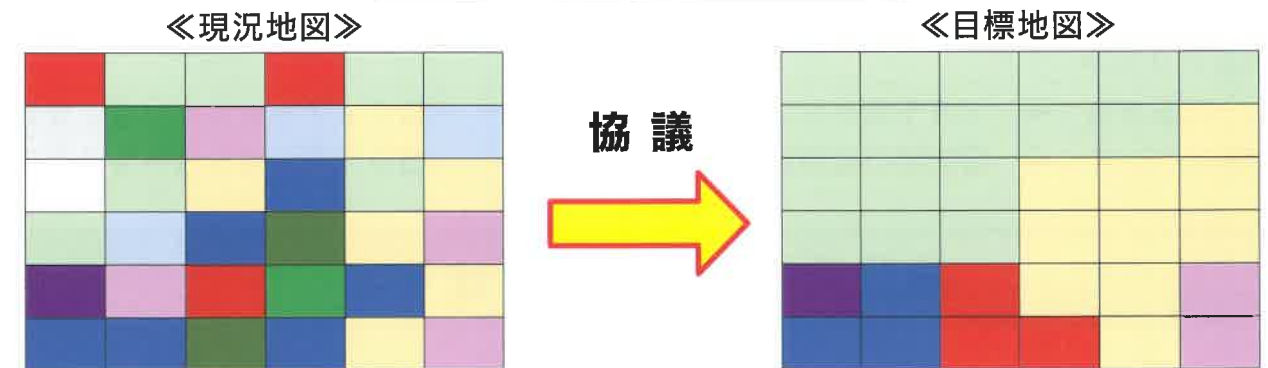
これまで、皆さんの努力で守り続けてきた農地を、次の世代に引き継いでいくため、農地利用の集積・集約方針をまとめた“地域計画”の策定に、習志野市役所とともに取り組みます。

農業委員会では、地域計画における目指すべき将来の姿を地図化した“目標地図”の作成を行います。

地域計画は、地域の意向を反映して、作成しますので、農業に従事されてきた皆様のご意見が必要不可欠となっております。

今後、農業の中心となる担い手の方を中心とし、協議の場を設ける予定です。

地域計画と目標地図のイメージ図



現在は担い手ごとに耕作地がバラバラになっている農地は、農作業が円滑に行えていない現状があります。

目標地図では、担い手ごとに耕作地を集積・集約することにより、より効率的に優良農地の確保をしていこうとするものです。

農業委員会はこんな活動もしています！



農地の転用工事の進捗状況について、千葉県の担当職員と現地調査を行いました。

「市内営農者との交流会」を開催しました。今年度は、全国農業会議所の専門相談員から相続に関するご講演をいただきました。

